

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名	山梨県立愛宕山こどもの国					
指定管理者	財団法人山梨県青少年協会	所管課	児童家庭課			
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	子どもに遊び等を通じて、自然の中で、協力、規律、忍耐等を学び、豊かな情操を身につけるための場を提供し、心身ともに健やかな児童の育成に寄与する。					
指定管理者が行う業務	キャンプ場の利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 児童の健全な育成のための催しの実施に関する業務					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	毎日の点検等により施設の安全及び適正な管理に努めた。	毎日の巡回点検により、概ね適正に管理されている。開園後40年近くが経過する中で、遊具の老朽化が進んでいるため、今後の修繕について、長期的な視野を持って取り組んでいく必要性を強く感じた(今年度、当課で施設全体の将来計画を策定予定)。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	業務仕様書の定めるとおり実施し、適正な管理に努めた。特にキャンプ場の利用者については、事前に利用方法の周知に努め、適切な利用の推進、安全な管理運営に努めた。	事業報告書及び現地調査の結果、適正に管理されている。今後も引き続き安全で適正な管理に努めること。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	自主事業の実施により、愛宕山の自然や親子のふれあいを深める機会が提供できた。	自主事業の見直しが不十分であり、連年で参加率が悪い同一事業が存在する。事業の改廃を進め、魅力ある事業の実施に努めること。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 施設・設備管理について 満足 76% 利用手続・時間 満足 79% 受付・接客対応について 満足 66% 行事イベント(自主事業等) 満足 92% 平均 78%	遊具のある斜面土への風による浸食がひどく、コンクリートの基礎がむき出しになっている。 遊具が旧くて汚い。 営業時間を長くしてもらいたい。 お金もかからず一日楽しめた。				
利用者満足度調査	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	こどもの国については、利用者に概ね満足していただいている。 浸食については、職員が手作業で遊具下の土盛りを行い、安全対策としてむき出しの基礎にゴムを巻き付けている。 利用者の安全管理上現在の開園時間が設定されていることを、周知していく必要がある。	施設、設備、受付・接客対応など、全体的に利用者は概ね満足していると考えられる。 今年度策定予定の将来計画の中で検討していく課題が多いが、県・協会で意見を出し合ってより良い方向を目指していきたい。				
利用実績	利用者数	19年度実績(人)	20年度計画(人)	20年度実績(人)	21年度目標(人)	
		277,752	281,918	273,433	280,530	
利用実績	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	指定管理者の自己評価 20年度から少年自然の家が満杯である場合、宿泊希望者をキャンプ場に誘導するなどの試みを新たに始めたが、計画数の実現には至らなかった。	来年度は目標達成に向け、今後は科学館と連携したPRの推進を図るなど、更なる集客増を目指していくとともに、主催事業の改廃を進め、利用者の増につなげていくこと。				
収支の状況	科目	20年度計画額(円)	20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	134,000	427,000	-293,000	138,000
		指定管理料	48,718,000	48,718,000	0	47,343,000
		その他収入	1,294,000	914,000	380,000	2,230,000
		計	50,146,000	50,059,000	87,000	49,711,000
	支出	50,146,000	49,018,000	1,128,000	49,711,000	
差し引き(収入-支出)	0	1,041,000		0		
収支の状況	評価	施設所管課の評価				
	指定管理者の自己評価 利用料金収入額が計画値を上回ることができた。引き続き経費節減に努め、収支の均衡を図っていくこととする。	利用料金収入は、計画額を上回ることができたのは、昨年度からの改善事項であるといえる。一方、その他収入(自主事業の参加者負担金)は計画額を下回っている。今後は、自主事業の改廃を積極的に進め、PRを強化しながら、更なる収入増に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	施設全体の収支で黒字を確保したことは評価できる。今後は、施設利用者の増加を目指し、科学館と連携した広報活動を積極的に行うと共に、集客状況による自主事業の改廃作業を進め、より魅力的なイベント・行事を行うなど、更なる利用促進に努めること。					
総合的な評価及び改善事項	指定管理者の努力により経営内容の改善が見られるなど、一定の成果がでてきている。また、基本協定書及び業務計画に基づき適正な管理が行われており、指定管理者が行っている管理運営業務は概ね良好であった。 遊具等利用者に、軽微な怪我が見られたため、適切な対応と同時に、所管課への事故報告も迅速に行うこと。 自主事業の改廃を進め、収益向上、利用者の満足度向上に努めること。 今後も利用者の意見、要望等を迅速に管理運営に反映し、利用者サービスの向上に努めること。					